

森七小だより

<https://www.hino-tky.ed.jp/e-hino7/>

No. 7

令和4年10月1日(土)
日野市立日野第七小学校
校長 大西 浩之
TEL 042-583-3907



「現在の身の回り」に「未来の平和」が

校長 大西 浩之

先日の学校公開・道徳授業地区公開講座へは、感染症対策にご協力いただきながらご参観いただき、ありがとうございました。アンケートでの温かい励ましのお言葉にたくさんの方の元気をいただきました。授業へのご意見は今後の改善に生かしていきます。また、公開講座では、むさしの発達支援センター所長の森山徹先生にご講演いただきました。参加者からは、「子供と一緒に悩み、自分もアップデートしていこうと思いました。」などの感想があり、社会との関わりについて親子で考える機会をいただきました。

さて、先日5・6年生を対象に戦争体験伝承者による平和講演会を行いました。この取組は今年度から始まり、2年に1度、日野市の全小学校で行われます。伝承者とは、終戦より80年近くが経ち、実際に戦争を体験された方が減ってきている中、1年間の研修を受け、被災された方から直接、当時の様子や戦争の悲惨さ、平和への思いなど、その心を受け継がれた方々になります。今年度、本校では広島で被爆された方の伝承者にお越しいただき、話を聞くことができました。それは、戦時中に必死に暮らしていた家族が、ある日突然、母親や兄弟と会えなくなったこと、目の前に広がる悲惨な状況、そして生き残った後も周囲の無理解により苦しんだ話でした。

講演会後の子供たちの感想には、戦争反対の思い、平和な日常への感謝、命の大切さなどが書かれており、心に深く刺さったことが分かりました。その中で、「周りの人への思いやりをもつようにする。」との感想がありました。これは、単に平和への思いを強めたり、将来的に何かをしようとしたりするものとは違い、今現在の自分に何ができるかを考えた答えでした。「平和」といってもどこか遠くにあるものでも、未来の話でもありません。むしろ、「未来の平和」は「現在の身の回り」にこそあることを自覚しています。

戦争は、人が自分と違う人種や多様な考えなどの差異を受け入れられずに起こります。であるならば、戦争を止められるのも、戦争を起こさないのも人です。そのために必要なことは目の前の一人一人を大切に、対話による相互理解を深めることです。伝承者の方が話の最後として、これからの社会を生きていく子供たちに、「一人一人の心に平和の灯を」と訴えていました。子供たちに平和の灯を灯す、学校教育でありたいと願います。

10月の行事予定

1	土	都民の日・七小体育の日・給食なし
2	日	七小体育の日予備日
3	月	振替休業日
4	火	読書週間始・避難訓練
5	水	4時間授業・B時程
6	木	
7	金	水道キャラバン(4)・ものづくり(5)
8	土	
9	日	
10	月	スポーツの日
11	火	委員会・5時間授業(3・4)
12	水	
13	木	生活科見学(1・2)・ガサガサ(4)
14	金	読書週間終・安全指導
15	土	
16	日	
17	月	クラブ
18	火	社会科見学(3)
19	水	たてわりオリエンティング・5時間授業(1)
20	木	4時間授業・B時程・就学時健診
21	金	社会科見学(4)・教育実習終
22	土	
23	日	
24	月	クラブ
25	火	
26	水	4時間授業・B時程・校内研授業②
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	クラブ

※行事等については変更・中止となる場合があります。

10月の目標

生活指導目標 「落ち着いて学習や行事に取り組もう」
保健目標 「規則正しい生活をしよう」
給食目標 「好き嫌いをせずに食べよう」

◎『伝承遊び』が教えてくれること

副校長

10月1日(土)、「七小体育の日」。この日に至るまで、元気いっぱい活躍する子供たちの姿がたくさん見られました。どの学年も、子供たちが自ら動きを考えたり、楽しんだりすることを目標にして練習に取り組んでいました。校庭で躍動する子供たちは目覚ましく、見ている人を感動させてくれました。

このように、本校教員が子供たちに指導してきた「考え、決めて、楽しむ」ことは、私たち大人も子供の頃にしてきました。「かくれんぼ」「缶蹴り」「お手玉」「けん玉」「おにごっこ」「めんこ」「おはじき」「羽根つき」などの『伝承遊び』がそうです。伝承遊びをするときには、自分たちで新しくルールを決めたり、遊び方の工夫をしたりして、楽しみ方をアレンジしていたことを思い出します。

「自分たちでルールを考え、決めて、楽しむ」。このことは、今回の七小体育の日を作り上げた子供たちと私たち大人、双方とも、とてもよく似ています。ですが、今の子供たちの遊びの中に、伝承遊びをする姿はあまり見られなくなりました。学校という教育活動以外の場所でも、「ルールを考え、決めて、楽しむ」場面に触れる機会が数多くあればと思う次第です。この経験が人との繋がりを生み、相手の立場を考え、思いやりの心を育てることにもなっていくと思うからです。

遊びはいろいろなことを教えてくれますし、気付かせてくれます。そんな経験を積ませていきたいものです。

◎ 七小の特別活動について

特活部

<たてわり班活動>

コロナ禍になり、例年通りのたてわり活動が思ったようにはできないことが続いています。昨年度は3学期のみのたてわり活動でしたが、今年度は、1学期から班の色別に曜日を変え、様子を見ながら行っています。2学期に入ってから、コロナ感染者数が増えたこともあり、一旦活動を停止していましたが、感染状況を見ながら復活させていきます。2学期にはたてわり班での校内オリエンテーリングも予定しています。6年生を中心に異学年で関わることで、次の学年への見通しや、下級生への思いやりの心を育てています。

<委員会活動>

今年度は、委員会活動も児童の自主性を育むような活動を考えています。委員会の仕事を「当番活動」ではなく、「自分たちの委員会はどうなことができるだろう」と主体的に考えることで、意識を変えています。代表委員では、今の七小のどんなところに課題を抱えているかを話し合ったところ、「縦の繋がりが少ない、もっと仲良くなりたい」という意見が出ました。そこで、中休みに異学年で遊ぶ「サークル活動」という時間を考えました。1学期には熱中症の危険もあったため、1年生の教室を借りて4つの室内遊びを行いました。2学期には校庭で鬼ごっこをしました。様々な学年の子供たちが集まり、とても楽しそうに交流していました。

◎総合的な学習の時間について

3学年担任

3年生の総合的な学習の時間では、「身近な自然と仲良くなろう」をテーマにして学習を進めています。学校公開では、落ち葉に絵具を塗って、ハンカチに模様を付ける「葉っぱでスタンプ」という作品を作りました。

事前学習では、中央公園に落ち葉を集めに行きました。子供たちは、「葉っぱでスタンプ」を作るために、大小形の異なる落ち葉をグループで協力して、たくさん集めることができていました。

学校公開当日は、地域のどんぐりクラブの方々に来校していただきました。各クラスとも、どんぐりクラブの方の説明をしっかりと聞き、それぞれ素敵な作品に仕上げることができていました。子供たちの作品を見ると、落ち葉を使って大根や雪だるまを表現している作品や、どんぐりの実を使って水玉模様を表現している作品が見られました。

「葉っぱスタンプ」の後には、「黒川清流公園の自然」について、どんぐりクラブの方に講話をしていただきました。黒川清流公園にはどのような自然があるのかという話から、綺麗に見える公園も実はゴミが捨てられているという話も聞きました。講話を聞いた子供たちは、自分たちが自然を守るために何ができるのかについて考える姿が見られました。

学校公開での様子が10/4(火)18時からJ:COM「つながるニュース」で紹介されます。また、放送後1週間はスマホ用アプリ「ど・ろーかる」でも視聴できますので、是非ご覧ください。